

年間第2主日

2016.1.17

ヨハネ 2・1-11

ジョン神父（クラレチアン宣教会）

皆さんは先週がどのような祝日だったか、まだ覚えています。それは主の洗礼です。主の洗礼は聖霊によって突き動かされたわたしたち一人ひとりが主のために宣教をするという行動のしるしです。

皆さんは結婚式や誕生日会に参加をしたことがないという人はいないと思います。パーティーでは何が必要ですか？ パーティーで必要なものは食べ物と、なんといってもワインです。もし結婚式がとり行なわれたら、ハンサムな新郎と美しい新婦に皆が焦点を当てますが、それに添えるための食べ物とワインも必要です。

たくさんのゲストが結婚式のお祝いに参加をして、乾杯をします。ワインを乾杯して飲むことは喜びと幸せの象徴です。いいワインがなければいいお祝いができないと思います。

今日はガリラヤ地方のカナでイエスと弟子たちは結婚式に出席しています。そこで問題がありました。家族はワインを切らしてしまったのです。ワインを切らすことは家族にとって大きな恥であり、その光景を見ていたマリアはこの出来事を気にかけていました。「ぶどう酒がなくなりました」。マリアは人一倍その出来事の詳細を気にかけていました。

イエスは言いました。「婦人よ、わたしとどんなかかわりがあるのです」。これは、尊重している意味のことばです。マリアは続けていいました。「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」。これは、マリアが息子であるイエスを信頼しているから出てきたことばです。

そして、ユダヤ人が清めに用いる石の水がめが6つあり、その水をワインに変えるという初めての奇跡に結びつくのです。これは、マリアは不完全だけれど、イエスが完全に代えることを象徴しています。

この完全は結婚式を完全にし、花嫁花婿を完全にし、イエスの祝福で結婚生活そのものが完全になるということを表わしていると思います。結婚はイスラエルと神の契約のしるしであり、教会とイエス・キリスト、そして花嫁と花婿の結びかたが神の契約であることを表わしています。神さまは結婚している人たちを祝福しています。結婚をしている男女はイエスの教えによって神と

の契約を結んでいるということにこたえていかなければならないので、お互いにいたわりあってそれを守るように努力しています。

もし結婚生活において問題に出会い、それがうまく機能していないのなら、イエスのところに走りよって助けを求めて、結婚生活が祝福されるように願い求めましょう。

わたしたちの人生は、今日の福音の結婚式で花婿が自分に降りかかった出来事で心配するように、何かに尽きてしまうことがあると思います。しかし、マリアを通じてイエスのみことばに従うことで最高のワインを花婿がゲストの出したように、わたしたちも全てが正しい方向に向うのではないかと思います。

わたしたちはイエスによって祝福されているので新しい人々と呼ばれています。カナの結婚式はイエスによって祝福されました。わたしたちが問題に直面したとき、カナの結婚式の新郎のようにいつもポジティブな態度で過ごすことができるようにしましょう。